

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	上下水道施設課(上水道事業担当)				
事務事業名	施設改良整備事業			事業番号	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分	☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-4 上下水道の充実
	施策目標	上下水道施設の充実した安全・安心で快適なまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	市民
	対象者の今後の予想	減少
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	水道管路近代化推進事業(老朽管更新)、配水管整備事業、桂木浄水場整備事業、国営環境保全型かんがい排水事業	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	市民生活や経済活動に欠くことのできないライフラインである「安全で安心な水」を安定的に供給を行うため、水道事業の経営基盤を強化し、水源における水質の安全確保、基幹管路や施設の耐震化を行い、安定給水を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	上水道の普及率	99.3%	99.3%	99.3%	99.4%			99.4%	99.5%
2	上水道の有収率	78.1%	78.1%	80.0%	79.7%			81.6%	85.0%
3									
4									
事業費（＝下記内訳計）				H29予算		H29決算		H30予算	
				281,245		260,193		431,208	
内 訳	国庫支出金			24,172		18,153		24,456	
	地方債			226,100		211,600		367,800	
	その他			1,860		1,827		1,600	
	一般財源			29,113		28,613		37,352	
人員(人工)				2.25		2.25		3.00	
職員人件費（＝人員(人工) × 7,696 千円）				17,316		17,316		23,088	
総事業費（＝事業費＋職員人件費）				298,561		277,509		454,296	
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）				3,004		2,792			
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）				3,746		3,482			

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	基幹管路の更新については、耐用年数が長い管種を採用している。
今後の動向・市民ニーズなど	今後も市民生活や経済活動において欠くことのできないものであることから、何時でも安心して飲める安全な水道水の供給を継続する。

5 事務事業の評価

	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	安定給水を行っているため結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	☐ 可能 ☒ 一部可能 ☐ 不可能 桂木浄水場や関連施設の維持管理を委託する。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 新にコスト縮減できる材料や方法があれば直ちに見直すが、今のところは見直す必要はないと考えている。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない コスト縮減に関して日々努力している。
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない 地理的条件などから厳しい
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 今後、安定給水を継続していくために、見直す可能性がある。

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【平成29年度】

主管課名(担当名)	上下水道施設課(下水道事業担当)				
事務事業名	施設改良整備事業			事業番号	
重点プロジェクト	☐ 該当 ☒ 非該当	評価時期	☒ 中間 ☐ 事後	事務区分	☒ 自治 ☐ 法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-4 上下水道の充実
	施策目標	上下水道施設の充実した安全・安心で快適なまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	下水道全体計画区域内の市民
	対象者の今後の予想	減少
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	汚水・雨水管渠の新設、更新、補修等を実施するほか、終末処理場、各ポンプ場の施設整備、機器更新を実施し、汚水処理施設の機能充実を図る。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	川や海などの自然環境を守ると共に、水洗トイレを利用することで、清潔で臭いのない生活環境が図られる。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
			H27	H28	H29	H30	H31		
1	下水道普及率	74.2%	74.3%	74.3%	74.3%			75.0%	77.0%
2									
3									
4									
事業費（＝下記内訳計）				H29予算		H29決算		H30予算	
				837,309		662,670		1,167,087	
内 訳	国道支出金			440,000		341,882		612,017	
	地方債			389,100		310,800		538,800	
	その他			3,336		8,716		1,403	
	一般財源			4,873		1,272		14,867	
人員(人工)				2.67		2.67		2.67	
職員人件費（＝人員(人工)× 7,696 千円）				20,548		20,548		20,548	
総事業費（＝事業費＋職員人件費）				857,857		683,218		1,187,635	
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）				1,154,585		919,539			
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	☐ 検討中 ☒ 見直し・改善済み ☐ 見直しをしたが改善に至っていない ☐ 検討していない
見直しの内容など	全体計画区域内で認可区域外に位置付けされている区域を、合併処理浄化槽事業による汚水処理に変更していく。また、下水道施設長寿命化計画から順次ストックマネジメント計画に移行し計画的な施設整備、更新を図る。
今後の動向・市民ニーズなど	市街地の管渠整備等は概ね完了しており、部分的に未整備地区が点在しているが、面的整備が困難なため、今後費用対効果を考慮し整備を進めていく。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	☒ 結びついている ☐ 一部結びついている ☐ 結びついていない 豊かな水環境の保全に結びついている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	☐ 可能 ☐ 一部可能 ☒ 不可能 下水道法では「公共下水道の設置、改築、修繕、維持、その他の管理は市町村が行うものとする」となっているため。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	☒ ある ☐ 一部ある ☐ ない 人口減少や産業の動向等を考えた場合、未整備地区の下水道整備については難しいため、合併処理浄化槽事業等、他事業での汚水整備について考える必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	☐ ある ☐ 一部ある ☒ ない すでに工事コストの縮減を図っている。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	☐ ある ☒ 一部ある ☐ ない 浄化槽汚泥及びし尿を根室下水終末処理場で共同処理する、MICS事業(汚水処理施設共同整備事業)を実施している。
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	☐ ある ☐ 検討の必要性がある ☐ ない ☒ 既に負担がある 下水道に接続又は接続可能な方から受益者負担金を徴収している。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	☒ 現状のまま継続 ☐ 見直しのうえで継続 (☐ 拡充 ☐ 手段を見直す ☐ 効率化 ☐ 簡素化 ☐ 統合・振替) ☐ 終期設定あり (H 年度末終了予定) ☐ 休止 ☐ 廃止 ☐ 完了
--------	---

作成年月日

平成30年6月